



特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.14

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第14号では、2012年10月～2013年1月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定などをお届けします。

CONTENTS		
活動内容		1 ページ
2012/10/17	日韓女性技術士交流会	1 ページ
2012/10/24	都河明子さん内閣総理大臣表彰祝賀会	2 ページ
2012/11/10～11	おもしろいまちづくり 第5弾 ー目指せエコ達人ー (参加型)	2 ページ
2012/12/15	第16回技術サロン (WPETF 活動への協力)	3 ページ
2013/01/26	平成24年度技術士第1次試験合格者・JABEE 修了見込者ガイダンス (WPETF 活動への協力)	4 ページ
会員からの発信		4 ページ
渡辺美樹さん	「ワンコインでリフレッシュ」	4 ページ
リレーエッセイ		5 ページ
吉川サナエさん	「ハッピーリタイアメント！」	5 ページ
技術サロン参加学生からの感想		6 ページ
三浦めいさん	「技術サロンの感想」	6 ページ
運営報告		7 ページ
今後の活動予定		7 ページ
2013/02/02	平成25年 新年会	7 ページ
2013/03/16	第17回技術サロン (WPETF 活動への協力)	7 ページ
技術士をめざして		7 ページ
篠リベカさん	「異分野からのチャレンジ」	7 ページ

活動内容 (2012/10～2013/01)

- 日韓女性技術士交流会
- ◆ 日 時：2012年10月17日(水)
- ◆ 場 所：名古屋市 ホテルキャッスルプラザ 泉月の間
- ◆ 主 催：特定非営利活動法人女性技術士の会
- ◆ 参加者：廣瀬、木村(了)、岩熊、石田、中西、平永、氷上、川上、千木良、笹尾、山本(美)、萩原、磯打、藤井、鈴木(千)、韓国女性技術士6名



- ◆ 内 容：大会テーマ
「技術士の立場から多様なエネルギー戦略を考える」
- ◆ 両国代表者の挨拶と参加者紹介
- ◆ 日本側活動報告（木村了）と発表「日本のエネルギー供給と再生可能エネルギー導入時の課題」（川上紀子）
- ◆ 韓国側発表「Energy Trend of the world」（申浩傳）
- ◆ 後半に文化交流としてお茶会を実施
- ◆ シンポジウム後、隣室 茜の間にて中華料理による食事会終了後、二次会は日本側 9 名、韓国側 4 名が参加



都河明子さん内閣総理大臣表彰祝賀会

- ◆ 日 時：2012 年 10 月 24 日（水）
- ◆ 場 所：Old man's UN Club 汐留
- ◆ 主 催：INWES-Japan
- ◆ 目 的：都河明子さんの「内閣総理大臣表彰」を祝う
- ◆ 概 要：本会と JWEF で構成する INWES-Japan の都河明子会長が、長年に亘る男女共同参画推進に関する活動を評価され、2012 年 6 月に内閣総理大臣表彰を受けた。今回は本会と JWEF 合わせて 20 名が参加して大いに歓談し、お祝いはもとより両会の親睦もより一層深まり、楽しい夜を過ごした。



「おもしろいまちづくり」第 5 弾 「目指せエコ達人」（参加型）

- ◆ 日 時：2012 年 11 月 10 日（土）、11 日（日） 10：00～17：00
- ◆ 場 所：日本科学未来館 サイエンスアゴラ会場
- ◆ 企画タイトル：親子で参加「おもしろいまちづくり エコゲーム」&エコな暮らし
- ◆ 主 催：JST
- ◆ 経 緯：おもしろいまちづくりシンポジウム第 5 弾は、本会の活動やまちづくりに関する情報を知ってもらうために、参加者がより多く集まる場所としてサイエンスアゴラに参加して、INWES-Japan と本会の共同で開催することとした。
- ◆ 目 的：体験型展示を通じ「エコな暮らし」について考える
- ◆ 内 容：

1. エコゲーム

川崎市公害研究所、環境技術情報センター、NPO環境サプリメント研究会の共同で作成した双六型ゲーム（本体形状5.4×3.6m）を用いて親子でエコライフを学んだ。参加者自身がコマとなり、



さいころを振って止まった目にある質問に答えてポイントを重ねた。15ポイント以上獲得した参加者には「地球と仲良しでしよう！」賞品としてラベンダーのポプリ袋を進呈した。また、参加者全員にお楽しみとして缶バッジを作ってもらった。

2. 自転車搭載型水質浄化装置（(株)オガサワラ）

災害時に電気や水道が寸断した際に、河川の水やたまり水を人力で浄化する装置。自転車をこぐことによりポンプが作動し、4つのフィルターを通過することにより水が浄化されるしくみ。浄化前の水、浄化後の水、水道水を比較展示した。



3. パネル展示

第16回技術サロン（WPETF活動への協力）

◆ 日時：2012年12月15日（土）13:30～16:00

◆ 場所：公益社団法人 日本技術士会 荻手第2ビル5階 C・D会議室

◆ 活動形態：協力

◆ 主催：公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会

◆ 対象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性

◆ 参加者：委員会 石田、角田、小林、笹尾、本会 佐野 ※アンダーライン付記は本会会員でもある
一般参加者：7名（女子学生2名、社会人5名）

◆ 経緯：WPETFの主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもの。2008年11月に初回を実施し、同企画で第16回目。第11回目から、男女共同参画推進委員会主催で実施、本会はこれに協力している。

◆ 目的：技術者、技術士を目指す女子学生・女性にとって、技術者としてのキャリア形成や技術士取得の一助となるよう、技術士と意見交換する場を提供すること。なお、本会賛助会員の支援により、本会の震災復興支援事業の一環として、福島県的女子学生2名を招待した。

◆ 概要：はじめに技術士及び技術士制度、試験について概要を説明した。次にアイスブレイクにより参加者



全員で打ち解けた後、あらかじめ参加者に悩みや質問を用紙に書いてもらい、それを基に意見交換を行った。フリーディスカッションでは、非常に活発な意見交換が行われたが、女性が技術士を取得することへの周囲の抵抗感が多いことが共通の話題となった。こうした状況を改善し、女性が技術者になるための不安要因を取り除くためにも、技術サロンを通して男女共同参画を進めていきたい。

- 平成 24 年度技術士第 1 次試験合格者・JABEE 修了見込者ガイダンス（WPETF 活動への協力）
- ◆ 日 時：2013 年 1 月 26 日（土）13：00～17：35 （ポスター展示 11:00～13:00）
- ◆ 場 所：コクヨホール
- ◆ 活動形態：協力
- ◆ 主 催：公益社団法人日本技術士会
- ◆ 参加者：石田、笹尾
- ◆ 内 容：平成 24 年度技術士第 1 次試験合格者及び JABEE 修了見込者を対象としたガイダンスであり、技術士関連団体のポスター展示において技術サロンを主とした展示を行った。

会員からの発信

■ 渡辺美樹さん（水産部門、建設部門）「ワンコインでリフレッシュ」
はじめまして。私は、建設コンサルタントの環境部で生物に関わる仕事をしています。

みなさんは日頃のストレスをどのように発散していますか。汗を流す、音楽を聞く、お酒を飲む、おいしいもの食べる、ひたすら眠る……方法は人それぞれだと思いますが、私は体を動かし汗を流すことがいちばん合っています。

今回は、付き合いの長いテニスについてお話します。

私がテニスを始めたのは、ふたつめになる現在の会社に入ってからです。きっかけは、同じ年代のテニスをする人が周囲に何人かいたことと平日の昼休みにもテニスコートが使える環境にあったことからです。始めた頃はとにかく楽しくて、週末は朝から晩まで、夏も冬もやっていました。若かった……それに尽きます。

コドモが生まれてからはベビーカーに乗せて連れて行きました。歩かないうちはまだ良いのですが、歩き出してからは大変でした。しかし、テニスの仲間に交代で面倒をみてもらうことができ助かりました。コドモがそこそこ大きくなってからは、将来、家族でテニスができたら楽しいだろうと思い、子供用ラケットを買ってきて、せっせと球出しもしました。しかしその思惑は叶わず、ひとりにはバドミントンへ、もうひとりにはトランペットを吹いています。

テニスクラブに所属し、試合に出た時期もありましたが、現在は会社の仲間とその仲間のグループで、毎週土曜日、3時間のペースで一年中やっています。以前は、仕事がピークとなる年度末（1～3月）は活動を休止していましたが、忙しくても寒くてもやりたいという声が高まり、年中することになりました。活動費は、市のコートを使用しているので、ひとり1回500円、ワンコインです。ワンコインで3時間も楽しめて、ストレスも発散できて、運動にもなって、私にとっては価値あるワンコインです。

テニスの仲間も転勤等で段々減りましたが、全員来れば何とかゲームができます。高齢化も進み、



若い人でかろうじて 40 代、上は 60 代、中心は 50 代です。ゲームをしていてもラリーが続けば「あれっ、今いくつだっけ？」ということも最近増えてきたかもしれません。「今日は誕生日」などと言おうものなら、いつも以上に容赦ない鋭い球がきます。毒舌も飛び交いますが、根底にはあたたかさがあるので楽しくわいわいやっています。

私がテニスを始めて、かれこれ 20 年が過ぎました。年数だけだとかなりベテランの域ですが、腕はついてきていません。テニスの肝はフットワークだと思いますが、なかなか思うようには動けません。最初の一步（いや、二、三步？）も出ないし、ますますイメージ（頭）と現実（体）が乖離していくのを感じるこの頃です。それでも、毎週のテニスが楽しみです。少しでも上達したいという気持ちを持って、これからも続けていきたいと思えます。

リレーエッセイ

■ 吉川サナエさん（環境部門） 「ハッピーリタイアメント！」

皆さん、定年後の自分を想像できますか？ 私は定年を間近に控えても全く想像すらできませんでした。

私は、川崎市公害研究所で定年を迎えました。38 年間、主に水質分析に携わり、その後 3 年間、再任用職員として主に環境学習を担当した後、昨年 3 月、退職しました。全勤務年数 41 年でした。その 41 年間、一度も辞めたいと思ったことがなく、思い返しても楽しき日々の積み重ねでした。

余談になりますが、今年 89 歳になる私の母は、祖母が一代で築いたおでん屋を引き継ぎ、75 歳で店をたたむまで、働き続けました。今は超がつくほど物忘れをする母が、時々、おでん屋を切り盛りしていた頃の話をして。そして、最後に必ず「本当に楽しかったよ」と言うのです。そう思い返せる母の人生って幸せだなと思うこの頃ですが、私も似ているなとちょっぴり嬉しく思っているのです。

定年後、何をしようかが明確になったのは再任用期間中でした。

1960 年代に川崎市は公害の街としてその名を馳せました。がしかし、なんと川崎市に「公害史」なるものが存在しないのです。断片的な資料はあるのですが、まとまったものがないことに唖然としました。そして、この再任用期間に資料を集め、まとめようと思い立ちました。一人ではとてもできないので、当時、公害Gメンと呼ばれ、公害対策の第一線で働いた人たちに声をかけたところ、まず 6 人が集まってくれました。いわゆる団塊の世代です。まず、資料収集、ヒヤリングそして年表の作成と作業は進みました。そんなことをやっている時、誰かが「ただ集まって資料をまとめているより、NPO を立ち上げたらどうだろう」と小声つぶやきました。私は、「そうだ。やろう！」と叫びました。まだ時期尚早ではないかとの声もありましたが、思い立ったら後へは引けない私。皆を説得し、休日を大いに活用して、2012 年 4 月に、NPO 法人格を取得することができました。退職の翌月でした。名前は、「環境研究会かわさき」です。「公害史」を作成すること、公害の語り部として国内外へ情報発信をすることと、現在の環境問題、これからの環境問題についても研究をしていきます。現在、正会員 16 名、賛助会員 8 名ですが、現と元の環境局長なども会員になってくれています。また、現役の若者も何人かいます。

今までの活動としては、いくつかの環境イベントに参加したり講座を受け持ったり、また、冊子の一部執筆なども行っています。お楽しみはこれからだという感じです。



ぜひ、ホームページをのぞいて下さいね。アドレスは、

<http://kankenka.pro.tok2.com/index.html> です。

また、カルチャーセンターにも通っています。英語に麻雀、エッセイ教室。楽しい仲間がたくさんできました。ジムにも週に 2~3 回行って汗を流していますが、脂肪はなかなか落ちません。町内会の活動にも参加して親睦を深めています。

というわけで、勤めていた時には想像もしなかった新しい世界を今、大いに楽しんでいます。

技術サロン参加学生からの感想

■ 三浦めいさん（福島工業高等専門学校専攻科 ビジネスコミュニケーション学専攻1年）

「技術サロンの感想」

今回の技術サロンに参加して、技術士についてのお話や働く女性のお話を伺うことができ、とても良い経験になりました。技術サロンでは、技術士についての説明のみではなく、自己紹介や意見交換などによって参加者の方々とお話しする機会があったので、参加者の方々との交流ありつつリラックスした気持ちで技術士について知ることができ、充実した時間を過ごすことが出来ました。

正直に申し上げますと、技術サロンに参加する前は「技術士」とはモノづくりを行う人のための資格だと思っていたので、自分とは遠い存在というイメージを持っていました。私はビジネス系の学科で経営や経済の勉強をしており、授業の中で実際にモノづくりを行うことはほとんどないため、「技術士」の資格は私の学習している分野にはあまり関係していないと思っていました。

しかし、「技術士」の中には様々な分野もあるということや、理系・文系という枠にとらわれず技術士の資格を取得している方も多いということを知りました。そして、技術士の資格についてさらに興味を持ちました。

技術士の資格を取得することによって得られるメリットも多いということが知れてよかったです。実際に技術士の資格を取得した方々が実感しているメリットとして、社会評価の向上による「信頼性の向上」や、「交流による人脈の拡大」が挙げられているということを知り、知識の習得のみならず自分自身を向上させる様々なメリットが得られるということに対して大変魅力を感じました。技術士の資格を取ることによって、自分自身を向上させることができ、さらに社会に貢献できる機会が増えることはとても素晴らしいことだと思いました。

また、技術士の資格は国際的に通用するということを初めて知り、「技術士」の資格の素晴らしさを改めて感じました。しかし技術士の数は増えている一方で、欧米に比べて日本人の技術士は少ないということや、女性技術士は男性技術士よりも取得者及び受験者が少ないということも知りました。日本企業は素晴らしい技術を世界に提供しているので、さらに技術士が増えると、より日本企業が世界で認められ向上していくのではないかと思います。そして、女性の技術士がより増えたならば、女性ならではの視点を活かして工業が発展していくことも考えられるのではないかと思います。技術士について興味を持つ人や、技術士を目指す人を増やすためには、まずは技術士の認知を広めることが大切だと思うので、今回の技術サロンのように気軽に技術士についての理解を深められる場が増えたら、良いのではないかと思います。

今回の技術サロンにおいて、技術士の方々や女性技術士を目指して努力している方とお話する



ことができ、向上心を持って努力することや目標に向かって頑張ることの素晴らしさを改めて感じました。「女性だから」「子供がいるから」などと言って夢を諦めてしまうことなく、目標に向かって努力を重ね、自分の道を広げている女性がたくさんいるということを知り、私も自分の目標に向かって諦めないで努力する姿勢を大切にしたいと思いました。

今回の技術サロンに参加させていただいてよかったです。充実した時間を過ごすことが出来ました。技術サロンで得たものを今後の就職活動や社会生活に活かしたいと思います。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

運営報告

主体	日時	議題
理事会	2012/11/23、10:00~12:00	行事報告、土壌の分解調査への協力、新規活動、各部会報告、他
企画部会	2012/11/10~11、10:00~17:00	おもしろいまちづくり 第5弾（サイエンスアゴラ 2012 出展）
	2012/12/13、19:00~21:00	土壌分解調査報告作業分担、来年の活動、他
広報部会	2013/1/10、19:00~21:00	理事会協議内容の伝達、ニュースレター（vol.14、vol.15）、既刊ニュースレター紙ベースでの取扱い、他
総務部会	日常的な運営	会計および入退会、メールアドレス等変更に関する事務
国際部会	2012/10/24、16:00~18:00	2013 年日中韓のフォーラムの日本開催について、INWES-Japan 新規派遣者について

今後の活動予定

■ 平成 25 年 新年会

- ◆ 日 時：2013 年 2 月 2 日（土） 17:00~20:00
- ◆ 場 所：ワイン&ダイニング 無々 —MuBu—
- ◆ 内 容：今年度正会員となられた方および新規賛助会員の歓迎会も兼ねて行う
- ◆ 会 費：4,000 円/人（飲み放題）

■ 第 17 回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2013 年 3 月 16 日（土） 13:30~16:00
- ◆ 場 所：公益社団法人日本技術士会 荳手第 2 ビル 5 階 C・D 会議室
- ◆ 対 象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性
- ◆ 定 員：15 名
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、意見交換会
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 wpetf@pej-lady.org

技術士をめざして

■ 篠リベカさん（機械部門）「異分野からのチャレンジ」

この投稿文への執筆依頼を頂きましてありがとうございます。稚拙な文章で恥ずかしいのですが、改めて自分自身の整理も含め、振り返ってみたいと思います。

私は大学時代に造園学、森林科学を専攻し、学生時代は地下足袋につなぎ、または登山靴に鎌というスタイルで過ごしてきました。縁あって、今のプラントメーカーに勤めることになったのです

が、入社時は、会社のメインキーワード『環境保全』『バイオエタノールプラント』で自分の農学卒のキャリアも生かせると思っていたものの、実際は工学・物理・機械の世界でした。また、与えられた職務も営業事務だった為、正直、何のために高い学費を払いつつ大学まで行ったのかと不満に思う日々でした。

けれども友人や両親の助言を受けて、『人生に無駄な時はない。今までの人生で全く関係なかった機械という分野を知るのはこの時を逃したらもう二度とない。この場所でしかできないことがある。』と気持ちを切り替えました。

そのうち、機械のオーバーホールやメンテナンスの受注を受けるようになりました。すると、対応されるお客様は工学部出身ですが、機械図面の読み方も知らず機械の構造も把握できていなかった私は、ちょっとした問い合わせの内容すら理解できず、技術部門の方に丸投げするばかりでした。その度に、設計や工場の方に機械の『いろは』を教えて頂き、取引メーカーさんにも部品の作り方や構造を教えてもらい少しずつこの世界を知って行きました。

ちょうどその頃、還暦を迎えた技術者の方が無理をし過ぎて緊急手術をするという事態に直面したのです。私は、自分の無知さもその方に負荷をかけていたと気が付き、本格的に機械工学を勉強しよう決めました。そしていつしか技術士を目指そうという大きな目標が生まれました。

試験分野を森林や農業土木で受験すれば楽ですが、機械部門でなければ意味がありません。高校時代は生物・化学を専攻していたので、物理は中学までの知識しかありません。まず高校物理の教科書を購入し、また数学の微分積分もすっぱり抜けていたので、数Ⅱ・Bの復習を始めました。それから、熱力学、流体・構造力学、素材工学、システム等に取り組み、共通科目も怪しかったので、無機・有機化学、生物の遺伝などの復習も必要でした。平日は残業が多いので、夜の勉強は諦め、生活スタイルを変えて朝5時に起床し勉強、土日は10時間勉強しました。それでも足らず夏休みもすべて勉強にあてました。

何度も挫折して、数え切れないほどもう自分には無理だと諦めかけたのですが、大学生や他企業で研究職をしている友人が貴重な時間を割いて勉強を教えてくれ、家族もずっと励ましてくれました。1次試験に一回で合格できたのは、私を支えてくれた多くの方々のおかげです。合格通知を見たときは泣きながらお世話になった方々にご連絡しました。

これから2次試験ですが、技術士に向けて経験も知識も足りないものだらけです。今、旋盤講習を受講したり、中小企業を見学に行ったり、機械CADを勉強したり、手さぐりですが一生懸命この分野の世界を広げようとしています。試験には直接関係はないかもしれませんが、『人生に無駄なことはない』と、愚直にゆっくり歩みを進めています。

そんな中感じていることがあります。旋盤講習中、私はとにかく怪我をしないようにと細心の注意を払い、一日が終わるとヘトヘトになっていました。私たちが提供する機械は、一歩間違えたら凶器となります。製作メーカーは、それを使うお客様の安全についてはそのご家族の幸せを確保しなければなりません。日進月歩の技術に遅れてはいけませんし、共に歩んでいてもまだ足りないと思います。意識を先行させ、ありとあらゆる想定外事項にも想像力を働かせてしかるべきだと感じています。

私も、そのように日本を根底から支えている技術者の一人になりたいです。よしっ、がんばるぞ！

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2013年第1号 通巻第14号 発行責任者:特定非営利活動法人女性技術士の会 理事長 木村了